

# マイナビ電子書籍・VOD比較 映画「風が吹くとき」の感想調査

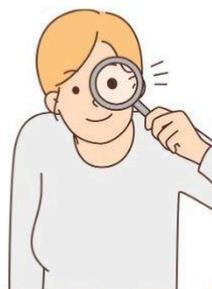


「風が吹くとき」の感想・評価を調査！

 **DMM TV**

**完全無料配信中！**

5.0



Iさん:★★★★

この映画は本当に独特な余韻を感じることができるのでそこに注目してほしいです。戦争によってどれだけの人たちが苦しい思いをしているのかなどすごくわかるので本当に目が離せません。主人公ジムの行動など色々と考えさせられる展開も多くてずっと心に残っている名作です。

Bさん:★★★★

こういう作品を見るとちょっとブルーな気持ちになるのですが、それはしょうがないです。感覚としては火垂るの墓を見た後のような虚無感に襲われるのですが戦争というものがそういうものだとか強く実感させてくれるのでそれはそれでいいと思います。

Kさん:★★★★

鬼気迫る場面が沢山描かれているのでより物語の中に没入できるのがとても素晴らしいところです。あと綺麗事のように描こうとしていないところがすごくいいと思いました。戦争という行為がどれだけ酷いことかを真摯に捉えているのがすごく心に響きます。

Aさん:★★★★

日本版の監修を大島渚さんがやっているという点がすごく魅力的ですね。この監督さんの映画はすごくクオリティが高いものが多いのでこの映画にも関わってくれているといい知れない安心感があり作品自体がとても魅力的に見えてきます。

**Kさん: ★★★★★**

放射線など核ミサイルの特性などもちゃんとリアリティを持って伝えてくれるので本当に興味深いです。戦争映画が好きな人には確実に刺さる映画です。メインキャラも日本人ではないのでその点もある意味凄く良かったです。

**Sさん: ★★★★★**

作画のテイストがとても魅力的ですね。戦争がテーマなので萌え系の絵柄じゃないところがまず魅力的です。それによってストーリーのシリアスさが伝わってくるのですごくお勧めしたい作品です。戦争の悲惨な部分をダイレクトで描き出されているのでそこも魅力的ですね。

**Nさん: ★★★★★**

このアニメを見るまで戦争というものが本当に遠くの世界のものだと勝手に思っていました。しかし、いつこういう状況に陥ってもおかしくないと思えるので本当に切ないですね。日本は戦争とは無縁だと思っていましたが未来のことは誰にも分かりませんよね。

**Dさん: ★★★★★**

戦争を扱った映画というものは数多くありますがこのアニメ作品はその映画の中でもトップクラスで興味深い作品ですね。キャラの内面はかなりフォーカスしていてすごく感情移入もできますし言い知れない切なさも抱けるので必見ですね。個人的に核ミサイルはやはり怖いと痛感させられました。

**Hさん: ★★★★★**

この映画は知り合いが紹介してくれたので暇つぶし感覚で見たのですがすごく考えさせられましたね。戦争の悲惨さなどすごく真摯に描き出していて見ていて胸が締め付けられましたね。メインキャストを森繁久彌さんと加藤治子さんが担当していてすごく声がマッチしていました。二人の鬼気迫る演技にすごくハラハラさせられること間違いなしです。

**Yさん: ★★★★★★**

最悪な気分になります。誰が見ても陰鬱で、食欲はなくなり、何もする気が起きなくなることでしょ。しかし、見るべきです。この作品を見てから語る言葉と、この作品を見ずに語る言葉では大きな違いがあります。戦争を肌で体験していない世代こそ、この作品を見て、どこにでもいる善良な人間に共感して、共に出来事を体験して、そして苦しむべきです。戦争は悲しいことで、無い方が良くと思う人が増えれば幸いです。

**Kさん: ★★★★★★**

戦争(特に核爆弾)について、ド直球で伝えてくれる作品です。アニメだからと言ってオブラートに包むことなく、もし核戦争が起きたらどんな結末になるのかが、はっきりと描かれています。衝撃的な内容ではありますが、登場するのはごく普通の夫婦。とても他人事は思えませんでした。

#### Wさん:★★★★★

アニメ映画「風が吹くとき」は、静かな田舎町とその住人たちの心温まる交流を描いた作品です。特にラストシーンが非常に感動的で、予想を超える深い余韻が残ります。シンプルなストーリーながらも心に強く響き、観終わった後もその余韻に浸ってしまいました。心がじんわりと温かくなる、優しい映画です。

#### Jさん:★★★★★

核戦争の恐怖と、それに立ち向かう老夫婦の姿が心に残りました。特に、主人公たちの無邪気さと信頼感が切なくもあり、愛おしく感じられました。現実の厳しさを描きながらも、二人の絆が光る作品でした。この映画を見ることで、戦争の無意味さや平和の大切さを改めて感じました。ちょっと重いテーマですが、心に深く響く作品です。

#### Rさん:★★★★★

1987年公開作品です。ということはチェルノブイル事故の翌年です。この映画には核爆発など直接的な被害のシーンは全くありません。場面は老夫婦の家の中だけ。ご主人はひたすら政府からの情報を信じていきます。それがこの映画にしかない恐怖を生み出しています。

#### Tさん:★★★★★

ほのぼのとしたかわいい夫婦のアニメにもかかわらず、内容は戦争と核の恐ろしさをテーマにした作品で違った切り口から描かれていると感じました。のんびりした夫婦の知らないことは怖いということ、愛というものの素晴らしさも描かれていると思います。

#### Cさん:★★★★★

可愛いイラストですが、精神的にくるものがある作品でした。つい戦争と自分は程遠いもので今後も関係ないと思い込んでしまっている点があり、そのあたりが主人公の政府の言うことを聞いておけば大丈夫というような無知さと重なりました。

#### Nさん:★★★★★

優しい絵柄、色使い、穏やかな二人の登場人物。それらがじわじわと、とんでもない悲劇的な非日常に引きずり込まれていく様が怖ろしかった。正常性バイアス？だろうか。二人の「何とかなるだろう、そんな大騒ぎしなくても」という危機感の

なさにイライラしながらも、「自分たちもしこの状況だったらこんな行動をとってしまうかもしれない」と思った。最後までいづもどおり穏やかで優しい二人に涙が出た。

**Nさん: ★★★★★**

絵本のように柔らかい絵柄とは裏腹に、戦争の悲惨な惨状を描いた作品です。

直接的な負傷の描写こそないものの、時間経過と共に現状が変化してゆく様は、見ていてとても胸が締め付けられました。

今のように情報が簡単に入らなかったという時代背景もありますが、自分達なりに現状を打破しようと行動する姿はもどかしく、無知である事がどれだけ今後に影響するのかという教訓になりました。

**Sさん: ★★★★★**

世界の均衡が崩れているにも関わらず、どこか「他人事」感のある我々だからこそ見るべきアニメーション作品。

牧歌的な生活を送っていても、戦争という大きな出来事の前には崩れる時は一瞬であるという事がまざまざと描かれる。

最適解のようなものは思い浮かばなかったが、目をそらしてはいけないという事だけは確かだと思った。

**Bさん: ★★★★★**

「風が吹くとき」は「スノーマン」の作者レイモンド・ブリッグズが原作者なので鑑賞しました。この映画が「核」の怖さを伝えていることは、鑑賞前に色々なプロモーションで知っていましたが、それでも衝撃を受けました。この作品は、平和の大切さを一般市民の夫婦を主人公にすることによりリアリティを持ってダイレクトに伝えてきました。8月の、日本での終戦記念日に平和への願いをこめ、再び鑑賞したいです。

**Kさん: ★★★★★**

絵柄はとても優しいけれど、戦争の悲惨さをストレートに突きつけてくるギャップこそがこの作品の見どころだと思います。

見てたら辛い気持ちにはなりますが、私たちが学ぶべき大切なメッセージが込められています。主人公たちが老夫婦だからこそ、余計に悲しさと切なさを感じられます。そして二人の愛と絆に、後半は泣かされまくりました。

**Mさん: ★★★★★**

核戦争をテーマにした感動的なアニメ映画です。主人公の老夫婦が日常生活を送りながら、突如訪れる危機に対処するストーリーです。物語はゆったりしており、キャラクターの純粋さと無邪気さがよく分かります。

アニメーションは手描きの温かみとリアルなディテールが特徴的で、音楽もデヴィッド・ボウイの楽曲が印象的です。

**Sさん: ★★★★★**

この夫婦はすごく無知だし、言ってしまうば愚かなのだと思います。でも、素朴で純粋で、そして愛がある夫婦の姿になんただか涙してしまいました。他の人からしたら、ちょっとバカにされてしまうようなところもあるでしょう。しかし、私はこの二人がすごくうらやましいなと思いました。そのくらい可愛い夫婦のお話です。

**Bさん:★★★★**

「風が吹くとき」は、心にぐっとくる映画でした。老夫婦の無邪気さと核戦争の悲惨さの対比がとても印象的で、見終わった後も心に響き続けました。戦争の無意味さや家族の絆を再認識させられる作品で、平和の大切さを改めて考えさせられます。シンプルな絵柄なのに、すごく深いメッセージが詰まっています、見てよかったです。

**Yさん:★★★★**

アニメ映画「風が吹くとき」は、戦争と家族の絆を描いた感動的な作品です。1940年代のイギリスを背景に、老夫婦の穏やかで温かい日常が描かれながらも、戦争の影響が静かに忍び寄る様子がリアルに表現されています。シンプルでありながら深いメッセージが心に残り、戦争の恐怖と家族の愛が織りなす物語に引き込まれます。アニメならではの温かみと切なさが絶妙に融合した作品です。

**Gさん:★★★★★**

柔らかい絵柄で描かれた、老夫婦の平穏な生活。そこに忍び寄る不穏な影。戦争の恐ろしさ、平和の大切さを声高に叫ぶ映画ではないが、大人にも子供にもメッセージがしっかりと伝わる。劇場公開から約半世紀を経ても色褪せることのない不朽の名作。

**Tさん:★★★**

スノーマンでおなじみのレイモンド・ブリッグズが発表した作品です。可愛しくて和む絵柄が愛されている作家さんですが、本作はそれに惹かれて観ると、良くも悪くも騙されます。人類は、誰もが一度は見るべきと思いますが、再度観られるかは\_\_\_\_\_個々の人によると思います。とても考えさせられるアニメーションです。

**Eさん:★★★★**

戦争の悲惨さと人間の無力さを深く描いており、感動しました。老夫婦が原爆の影響を受けながらも、日常を取り戻そうとする姿は胸を打ちました。彼らの純朴な希望と愛情が戦争の残酷さと対比され、観る者に強い感情を呼び起こします。この映画は、平和の尊さと戦争の無意味さを痛感させられ、心に響きました。

**Hさん:★★★★**

原子爆弾が落とされた町に暮らす二人の夫婦の話ですが、先の戦争で広島長崎の原子爆弾を落とされたことにより小学校などでどんな恐ろしいものを学ぶ日本人である我々にとっては、あまりにも頓珍漢な対策と思えることを行う二人に心が痛みます。登場人物が誰も悪いことをしていないからこそ、余計に恐ろしいと感じる映画です。

**Nさん:★★★★**

後味が最悪でトラウマになりそうな映画です。ほんわかしたキャラクターデザインなのに、内容は闇が深いです。序盤はなんでもない日常描写があり、それから小さな不穏な気配をまとわせた出来事が重ねられていき、気がついたら取り返しのつかないところまで来ているという感じです。こういう風に災いというのは進んでいくのかもしれない、という嫌なリアルさを感じさせてくれます。